

アートでつなぐ旧晴海鉄道展

「豊洲機関区」藤間さん開催

主役は旧晴海鉄道橋

「豊洲機関区」と言っても機関車は運行していない。東京・豊洲を拠点に、鉄道とアートを融合させ、撮り鉄ならぬ描き鉄「活動をしているイラストレーター・デザイナー藤間さちお氏の「アートネーム」。



写真右は、会場入口。旧晴海鉄道橋の模型が置かれた。写真左は、豊洲機関区さんの作品「晴海鉄道橋を渡る貨物列車」



左の写真は、旧晴海鉄道橋が遊歩道として供用が開始された昨年9月19日撮影



NHK学園 1日講座「橋さんぽ」

講師 紅林氏 うんちく傾ける④

一石橋

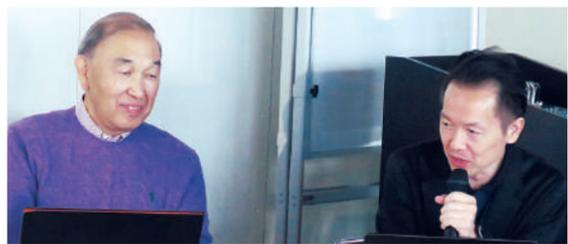
迷子を知らせる張紙の石標

への想いを、「旧晴海鉄道橋の再生を祝い、地域の人・訪れる人に『楽しく知り、感じてもらう』ことが目的。この橋がランドマークとして愛され続けてほしいとの願いも込めた」と説明した。

紅林氏がゲストトーク

会場では、本紙に「橋歩き」(5面)を長期連載している紅林章央氏(下の写真左)が、豊洲機関区さんと並んでゲストトークを行った。

この中で、同橋の設計者・田島一郎(98年没)が鉄道の廃止後、同橋が「貴重な文化財になる」と訴えていたことが保存につながった経緯を紹介。田島の「お嬢さん」という名前は、晴美さんという秘話も披露した。



令和7年度 土木学会選奨土木遺産 ⑥

宇都井高架橋(島根県邑南町)

江の川鉄道のHPによると、旧JR三江(さんこう)線(2018年廃線)の宇都井(うつい)駅は、「天空の駅」と呼ばれていた。高さ20mの宇都井高架橋(写真上、土木学会提供)の上に駅舎があったのだ。開業当時は日本一の高さを誇った。「鐵道」の名前だが、

NPPO法人のこと。廃線後の資産を活かした地域起しをしている。駅舎は邑南(おおなん)町がJRから取得して公園化し、その指定管理者を務める。同橋は、橋長180mのRC壁式多径間連続ラーメン橋。温度差によるコンクリートの伸縮を吸収する特殊な構造だ。



TKG 株式会社 特殊高所技術

本社 ☎ 075-574-7077
☎ rope@tokusyu-koushyo.co.jp



corporate website



従来工法(重機・足場)では近接が困難な構造物に対し、技術者が安全に近接し、目視による点検/非破壊検査 / コア採取/補修工事を行っています。
また特殊高所技術 × ドローンの活用により、さらなる業務の効率化を図り、コストダウンや工期の短縮が図れます。

新技術から スタンダードな技術へ そして、さらなる活用へ